

南畠あそび隊は、秋に「焼き芋大会」を開催しています。焼き芋大会への準備は、主に「お父さんサポートー」が中心になって進めています。南畠あそび隊は、月曜日の放課後に開催されているので、働いているお父さんやお母さんは、なかなか参加することができます。そこで、お休みの日にも南畠あそび隊を開いて、普段参加できない方とも交流を深めようということで焼き芋大会を始めました。そこで、焼き芋大会を使う芋は地域の方から畠を借りて

お父さんサポーター
松尾信悟さん

▶南畠あそび隊企画会議の様子。年5回程度開催されています。

南畠小学校長
宮 陽一さん

作っています。畠仕事をしたことのない、お父さんや子どもばかりでしたが、地域の方々にアドバイスを受け、さつま芋を育てられるようになります。苗植え、芋掘り、焼き芋は誰でも参加できます。おいしい焼き芋をみんなで食べましょう。

南畠あそび隊への思い

5月末から2月まで、ほぼ毎月曜日に実施される「南畠あそび隊」。子どもたちは、この日この時間を待ちわびています。隊長をはじめとして、地域の人・保護者のスタッフの協力で子どもたちは笑顔でいっぱいです。知らないおじさん、おばさんもいます。でも、一緒に遊んでくれれば、もう仲間です。褒められても怒られても笑顔です。その笑顔から子どもたちは、社会性、自主性、創造性などいろいろなことを楽しむと同時に学んでいます。



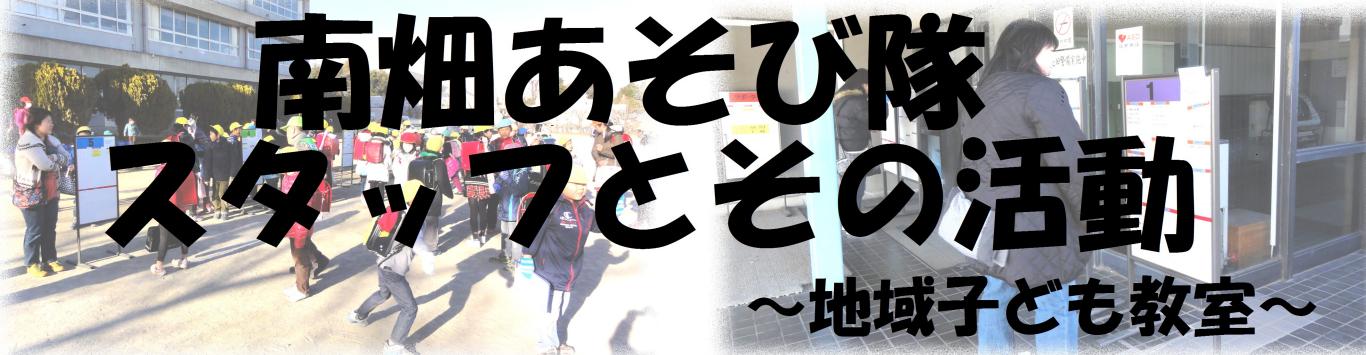
野球にサッカー、一輪車にトランポリン、編み物に積み木・折り紙と得意分野で子どもたちを楽しませ、片付け、安全な下校まで面倒を見てもいい感謝の気持ちしかありません。

学校・家庭・地域が一体となつて子どもたちを育てる。これが一番です。

サポーター募集しています!!
どうぞ、どなたでも無理なく関わるところにサポーターとして参加してください。
保険に加入するため、サポーター登録申請書を提出していただいています。用紙は公民館にあります。お問い合わせは、コーディネーターまでどうぞ。
問合せ先 秋元(090-2437-3930)

取材をおえて
「南畠あそび隊」は、小学校、学校応援団、地域の方やPTAなど多くの人の協力があつて成り立っていることがわかりました。南畠小学校の子どもたちは、とても恵まれていると思います。そして、校庭や体育館などで、のびのび遊んでいる子どもの顔は、とても輝いています。

子どもたちの元気とパワーをもらいたい小学旅行へ行きました。



サポーターの仕事

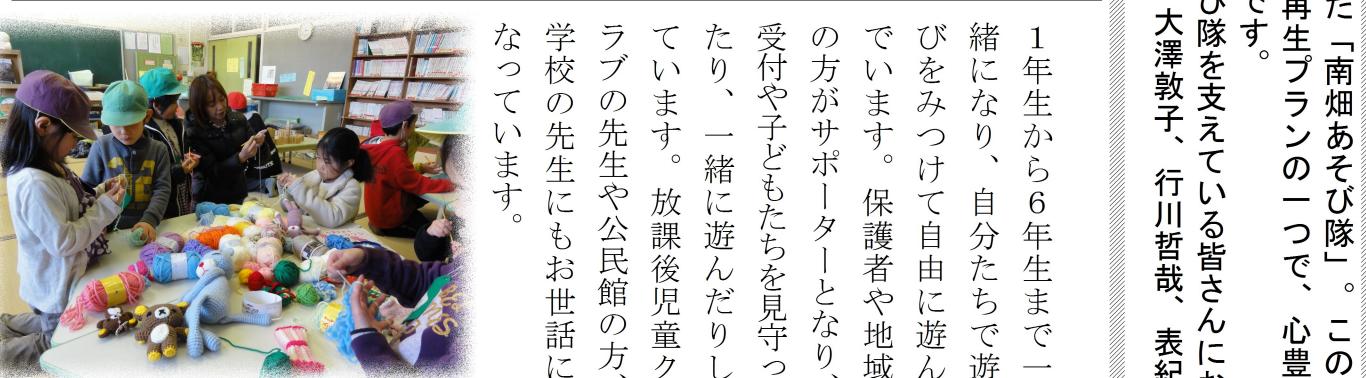
コーディネーター
秋元節子さん

発足から7年目を迎えた「南畠あそび隊」。この取り組みは、文部科学省が推進している地域教育力再生プランの一つで、心豊かなたくましい子どもを社会全体で育むためのものです。

今回は、この南畠あそび隊を支えている皆さんにお話を伺いました。

(担当／野本巳智子、大澤敦子、行川哲哉、表紀子、松下佳子、清水義昭)

1年生から6年生まで一緒になり、自分たちで遊びをみつけて自由に遊んでいます。保護者や地域の方がサポーターとなり、受付や子どもたちを見守ったり、一緒に遊んだりしています。放課後児童クラブの先生や公民館の方、学校の先生にもお世話になっています。



1年生から6年生まで一緒になり、自分たちで遊びをみつけて自由に遊んでいます。保護者や地域の方がサポーターとなり、受付や子どもたちを見守ったり、一緒に遊んだりしています。放課後児童クラブの先生や公民館の方、学校の先生にもお世話になっています。

子どもたちが帰る頃になると、下校チエックのサポーターが、子どもたちの下校を見守ります。そして、地点見守りのサポーターの方が、それぞれの地点で、子どもたちの下校を見守ります。また、平日だと参加できないお父さんを中心には、町会の方が青バトで、全地域をまわってくれます。そして、地点見守りのサポーターの方が、それぞれの地点で、子どもたちの下校を見守ります。また、平日だと参加できないお父さんを中心には、焼き芋大会も企画しています。子どもたちと一緒に遊んでくれれば、もう仲間です。褒められても怒られても笑顔です。その笑顔から子どもたちは、社会性、自主性、創造性などいろいろなことを楽しむと同時に学んでいます。



いろいろな形で、地域の大人と出会うことで、子どもたちの心のどこかに、地域の人と過ごしたこと願っています。

夏には、あそび隊夏まつりで、みんなのやりたいことを形にし、たくさんの人とたのしい1日を過ごします。

たさつま芋を掘つて、焼きながら交流することでお父さんの輪も広がります。

